

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成26年～平成30年度(5年間)									
事業実施地区名 (都道府県名)	馬淵川上流森林計画区 (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局 岩手北部森林管理署									
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、岩手県北部に位置する馬淵川上流森林計画区内の国有林野 53,038haである。</p> <p>当計画区の西部には奥羽山脈が東部を北上山地がそれぞれ南北に連なっている。北側は馬淵川、安比川、瀬月内川が北流し青森県を経て太平洋へ流れ、南側は松川が南流し北上川へ合流し太平洋に注ぎ、西側においては、八幡平市北西部を分水嶺とする米代川が日本海へと注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の56%がブナを主とする天然林、44%が主にスギ、カラマツを主とした人工林となっている。</p> <p>当計画区内は十和田八幡平国立公園をはじめとする森林景観の優れた地域や森林レクリエーションの適地を多く有する地域であり、希少植物種が数多く生育している八幡平では、「八幡平植物群落保護林」、「奥羽山脈緑の回廊」、に設定されているとともに、平糠イヌブナ保護林、松森山御堂松保護林等、各種保護林に指定されている。</p> <p>これらの地域は、観光地、レクリエーション、名勝と一体となって自然景観や風致を構成している森林であり、登山、湖沼・高原散策のほか有名観光施設があることや各交通のアクセスが良好なことから、都市部からの森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して従来より特産樹種等を生かした木材加工業が発達しており特に浄法寺漆が有名である。さらに、キノコ、山菜を利用した林産物加工が地域の重要な産業となっており、穀倉地帯の上流に位置する森林は用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、カラマツの評価が高く、国有林においてもカラマツの供給を通じた産業振興に寄与することが期待できること及び、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減に貢献し、低炭素社会の構築に寄与するとともに木材生産と公益的機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては、地域の要請に応えるとともに森林の有する機能発揮、低炭素化社会、地元優良国産材の需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な整備、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>918ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>8,060ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>24.6km</td> </tr> </table> <p>総事業費 3,704,715千円</p>			森林整備	更新面積	918ha		保育面積	8,060ha	路網整備	開設延長	24.6km
森林整備	更新面積	918ha										
	保育面積	8,060ha										
路網整備	開設延長	24.6km										
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>26,315,389千円</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>4,513,307千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>5.83</td> </tr> </table>			総便益(B)	26,315,389千円	総費用(C)	4,513,307千円	分析結果(B/C)	5.83			
総便益(B)	26,315,389千円											
総費用(C)	4,513,307千円											
分析結果(B/C)	5.83											
事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性 低炭素社会の構築や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮、地元特産材(カラマツ)や国有林内景勝地及びレクリエーション施設での振興、木材の安定供給等地域の要請に応えるため本事業の実施が必要である。</li> <li>有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。</li> <li>効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</li> </ul>											

様式1

便 益 集 計 表  
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業  
施行箇所：馬淵川上流森林計画区

都道府県名：岩手  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源 <sup>かん</sup> 涵養便益	洪水防止便益	4,772,368	
	流域貯水便益	1,665,411	
	水質浄化便益	6,124,838	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,518,620	
	土砂崩壊防止便益	0	
環境保全便益	炭素固定便益	2,421,880	
	気候緩和便益	0	
	騒音軽減便益	0	
	飛砂軽減便益	0	
	風害軽減便益	0	
	大気浄化便益	0	
	霧害軽減便益	0	
	火災防備便益	0	
	漁場保全便益	0	
	生物多様性の保全便益	0	
	保健休養便益	0	
	災害防止便益	山地災害防止便益	0
なだれ災害防止便		0	
潮害軽減便益		0	
海岸侵食防止便益		0	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	89,844	
	木材利用増進便益	24,684	
	木材生産確保・増進便益	1,717,924	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	0	
	治山経費縮減便益	0	
	森林管理等経費縮減便益	0	
	森林整備促進便益	979,820	
一般交通便益	走行時間短縮便益	0	
	走行経費縮減便益	0	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮等便益	0	
	ふれあい機会創出便益	0	
	フォレストアメニティ施設利用便益	0	
	副産物増大便益	0	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	0	
	防火帯便益	0	
	災害復旧経費縮減便益	0	
維持管理費縮減便益		0	
山村環境整備便益	生活用水確保便益	0	
	生活排水浄化便益	0	
	集落内除雪便益	0	
	土地創出便益	0	
	生活安定確保便益	0	
その他の便益	通行安全確保便益	0	
	環境保全確保便益	0	
	森林内施設管理経費縮減便益	0	
	ボランティア誘発便益	0	
総 便 益 (B)		26,315,389	
総 費 用 (C)		4,513,307	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{26,315,389}{4,513,307} = 5.83$		

